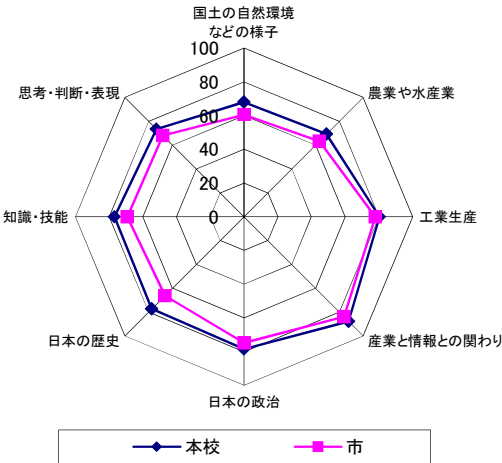


宇都宮市立今泉小学校 第6学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	67.9	60.5	65.8
	農業や水産業	69.2	63.3	66.0
	工業生産	80.3	77.9	75.7
	産業と情報との関わり	87.8	83.8	76.6
	日本の政治	78.5	74.9	74.1
	日本の歴史	77.4	66.3	68.3
観点別	知識・技能	76.9	69.3	71.4
	思考・判断・表現	73.4	68.1	66.4

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	平均正答率は、市の平均より高い。 ○日本の周辺の海洋名についての設問の正答率は84.6%で、市の平均正答率を10.3ポイント上回った。 ●公害についての設問の正答率は30.8%で、市の平均を4.7ポイント上回っているが、正答率が同領域の他の設問の正答率と比べると、とても低かった。	○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの ・公害という概念について、調べ学習を活用するなどして、起きた事例や周囲への影響等、理解を深められるようにしていく。
農業や水産業	平均正答率は、市の平均より高い。 ○米の品質を高める工夫についての設問の正答率は94.9%で、市の平均正答率を8.5ポイント上回った。 ●日本の主な食料の自給率についての設問の正答率は47.4%で、市の平均を10ポイント以上上回っているが、正答率が5割を切り、同領域の他の設問の正答率と比べても、とても低かった。	・米、魚介類、小麦等、日本の食料自給率の主な品目について、グラフ等の資料を活用するなどして、理解を深められるようにする。
工業生産	平均正答率は、市の平均より高い。 ○自動車の部品を再利用する目的についての設問の正答率は89.7%で、市の平均正答率を2.8ポイント上回った。 ●日本の主な輸出品・輸入品についての設問の正答率は60.3%で、市の平均を3.8ポイント上回っているが、正答率は6割台で、同領域の他の設問の正答率比べても、とても低かった。	・機械類と自動車等、日本の輸出入の品目のバランスや、輸入品・輸出品、それぞれの性質について、グラフ等の資料を活用するなどして、理解を深められるようにする。
産業と情報との関わり	平均正答率は、市の平均より高い。 ○情報の発信と受信の注意点についての設問の正答率は93.6 %で、市の平均を0.7ポイント上回った。 ●産業における情報活用の現状についての設問の正答率は82.1%で、市の平均を上回っているが、同領域の正答率を比べると7.3ポイント低かった。	・情報の発信と受信の注意点を意識付けることで、情報との関わりについて考えを深められるようにする。
日本の政治	○平均回答率は、市の平均より高い。 ○平和主義の基本的な考えについての設問の正答率は94.9%で、市の平均を1.3ポイント上回った。 ●議会政治について考える設問は、57.7%で市の平均を4.7ポイント上回っているが、正答率は6割に届かず低かった。	・国の政治に大切な法律や予算は、議会で慎重に決定していることを意識させるために、国会の仕組みを確認し、考えを深められるようにする。
日本の歴史	平均正答率は、市の平均より高い。 ○雪舟についての設問の正答率は83.3%で、市の平均を29.7ポイント上回った。 ●元との戦いについての理解をもとに、防塁が築かれた場所を判断する設問は市の平均を7.8ポイント上回ったが、正答率で51.3%と低かった。	・日本の歴史の学習について、今後も丁寧に指導していくとともに、その時代の主な出来事については、どうしてそのようなことが起きたのかなど、時代の背景や人物の様子などにより、具体的に出来事を捉え考えていくことができるように指導していく。併せて、資料を基に読み取ったことを書くなど、表現する活動を授業で取り入れていく。